

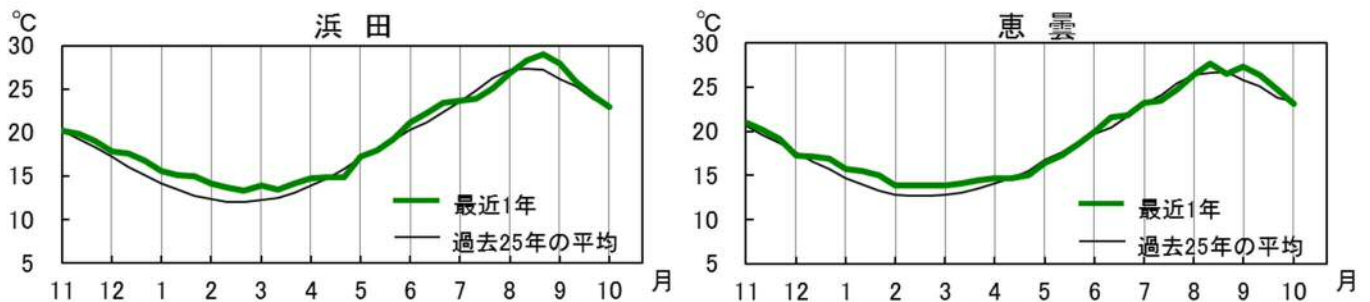


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《9月の海況》



9月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	26.0°C	+0.8°C	やや高め	26.1°C	+1.2°C
中旬	平年並み			やや高め		
下旬	平年並み			やや高め		

## 《9月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サワラ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は9.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは83トンで平年の5割、サワラ類は6.9トンで平年の3割でした。隠岐地区ではカタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は50トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カタクチイワシは1,745トンで平年の1.2倍、マイワシは1,528トンで平年の7割、ウルメイワシは931トンで平年の1.2倍でした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の99%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.4kgで平年を下回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は27.0kgで平年を下回りました。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、アナゴ・ハモ類、キダイ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は11.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカムツは平年の1.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.7倍、キダイは平年の9割でした。その他、マトウダイは平年の1.5倍、マダイは平年の1.5倍、アンコウは平年の1.2倍、ヤナギムシガレイは平年の1.7倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の7割、マアジは平年の5割の水揚げに留まりました。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアカムツ、アンコウ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は249トンでした。1統1航海当りの漁獲量は674kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカムツは平年の1.0倍、アンコウは平年の1.0倍、アナゴ・ハモ類は平年の9割でした。その他、マトウダイは平年の1.7倍と好調でしたが、キダイは平年の6割、ニギスは平年の7割、カワハギ類は平年の5割、ムシガレイは平年の7割、マダイは平年の6割の水揚げに留まりました。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は29.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.6倍でした。石見地区ではサワラ類、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は20.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の7割、マアジは9割でした。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は10.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3.3倍でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、マダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.0kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の2割、マダイは平年の2割でした。石見地区ではヒラマサ、ケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の5割、ケンサキイカは平年の1割でした。隠岐地区ではキントキダイ類、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.1kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、キントキダイ類は平年の6割、カサゴ・メバル類は平年の4割でした。

【令和2年9月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サワラ類	105トン	24%	33%	9.6トン	58%	64%	▲
	隠岐	カタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシ	4,908トン	119%	80%	50.0トン	145%	104%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.5トン	360%	1%	20.4kg	345%	7%	▲
	西郷	スルメイカ	0.1トン	180%	1%	27.0kg	180%	32%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、アナゴ・ハモ類、キダイ	243トン	80%	88%	11.1トン	87%	88%	▲
小型 底びき網	大田	アカムツ、アンコウ、アナゴ・ハモ類	249トン	58%	66%	674kg	83%	92%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類	386トン	106%	108%	29.7トン	106%	108%	◎
	石見	サワラ類、マアジ	60トン	82%	61%	20.0トン	110%	81%	▲
	隠岐	サバ類	30トン	144%	76%	10.1トン	96%	72%	▲
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、マダイ	9.1トン	32%	24%	19.0kg	91%	88%	▲
	石見	ヒラマサ、ケンサキイカ	9.0トン	42%	24%	15.9kg	99%	75%	▲
	隠岐	キントキダイ類、カサゴ・メバル類	5.3トン	43%	19%	16.1kg	106%	72%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ